

東北地理学会 2020 年度総会

2020 年 5 月 25 日

学会 HP 掲載

1. 会長挨拶

この度、春の大会が中止を余儀なくされましたことは、70 余年の歴史ある本学会にとって痛恨の極みでありました。コロナ感染をめぐる状況は短期間では解消し難いようにも見込まれる中で、5 月 16 日(土)に行われましたビデオ会議による評議会において、対面以外の方式による集会の実施に関していくつかの提案が出されました。秋に向けてはこれらの案も参照しつつ、多様な開催方式を検討したいと考えているところです。会員の皆様からもよいアイディアや実施例がありましたら、事務局まで情報をいただければ幸いに存じます。

さて、総会は人数の多さからビデオ会議による開催は困難のため、異例ながら文書による実施とさせていただくことになりました。本学会の事業と予算に関する議案は評議会の議を経て総会で決定することになっておりますが、諸議案は 16 日の評議会において承認されましたことを申し添えます。

会員の皆さまにおかれましては、よろしくご審議のほどお願い申し上げる次第です。

東北地理学会会長 高野岳彦

2. 議 事

3 ページ以降の資料参照の上、意見表明フォーム <https://forms.gle/o5kfgmt5LGb43teb8> に賛否・ご意見のご表明をお願いします。

(1) 2019 年度事業報告および会務報告

【要点】アウトリーチ企画『『地理総合』授業づくりワークショップ』を開催、災害対応助成金を支給。

(2) 2019 年度収支決算および財産目録の報告

【要点】経費削減、会費損金の縮小により黒字決算となった。

(3) 2019 年度会計監査報告

【要点】岩動会計監査より学会会計が適切になされているという報告があった。

(4) 2020 年度事業計画案審議

【要点】春季学術大会が中止、秋季学術大会は状況に応じてオンライン開催に切り替など、柔軟に対応するために開催場所を仙台において変更、アウトリーチ企画を継続して実施。

【評議会における意見】

- ・大会での発表を受けて論文を投稿するとの記載があるが、大会が中止となったため、それへの配慮ができないか？（回答）原則であり、発表していないと投稿できない訳ではない。
- ・春季大会に代わる大会の開催はできないか？（回答）ニーズを確認しながら検討する。
- ・春季大会で発表を希望していた（が登録していなかった）人への対応は？（回答）春季大会については中止決定の時点で、申込者は 2,3 名のみだった。申し込み時点で要旨の提出はないため、発表がなければ、（日本地理学会のように）既発表とみなし、要旨掲載することはできない。

(5) 2020 年度予算案審議

【要点】春季大会中止のため大会・研究集会費は縮小したが、アウトリーチ企画の継続のために 10 万円を加算した。繰越金減少額（赤字額）324,960 円を予定して予算をたてた。

【評議会における意見】

- ・アウトリーチ企画に大変賛成。その予算計画の詳細は。（回答）山形等の東北の各県で開催を想定しており、主に旅費が占めている。
- ・春の大会が主な会員入会のタイミングだったが中止になってしまった。会員数と投稿数の減少が心配される。（回答）学会および会員募集に継続的に取り組む。
- ・各地の教育機関でオンライン化が進んでおり、様々な企画をオンラインで発信できることに多くの人が気づいた状況にある。この機会を利用し、東北地理学会でもそうしたオンラインでの情報発信や研究会のような取り組みが必要ではないか。（回答）幹事会だけではなく、広く会員のアイデアを集めてそのような活動を展開したい。

(6) その他

【評議会における意見】

会員からの発議によるオンラインでの研究発表会に関する意見交換

- ・学会の新たな取り組み（春季大会に代わる大会）としてどのようなものが考えられるか？
（意見）オンライン研究集会、臨時夏季大会、オンライン講演会など。
 - ・オンラインで大会、研究発表会などは規約を整えると時間がかかるので、自由な取り組みで学会を活性化し、東北地理学会でもオンラインで様々な取り組みができるということをアピールすることが大事ではないか。
 - ・オンラインであっても大会要旨として記録が残る形式が望ましい
 - ・新型コロナウイルス感染症と地域経済の関係についての情報交換などかどうか
 - ・秋季大会も通常の形式で開催できるか分からないので、それに備えてオンラインでの開催に対応した体制、制度を整えることが望ましい。
 - ・学会の発表形態の問題なので、集まらないならポスター発表の形式を重視するとか。
- （回答）今までの形式に加えて多様な方法を、知恵を出して考えていきたい。

4. 報 告

(1) 東北地理学会研究奨励賞（長谷川賞）受賞者：本多広樹 会員（別紙参照）

(2) アウトリーチ企画「『地理総合』授業づくりワークショップ」

高校教員を対象としたワークショップを 2 月に実施、参加者から 2 名の新規学会員を獲得。好評だったため今年度も継続して行う。会員各位にも会場手配、参加者への呼び掛け、講師などとして、この活動への協力をお願いしたい。

(3) 災害対応助成金（台風 19 号災害）1 件

その成果は学会 HP に掲載されている。

(4) 東日本大震災 10 年特集論文（呼びかけ：高野・村山・宮原）

企画の説明がなされた。執筆のエントリは今月末まで、原稿〆切は 11 月末、73-1 から掲載予定。詳細は高野会長 tktk@mail.tohoku-gakuin.ac.jp（◎を@に置換）まで。

2019 年度 事業および会務報告

1. 総 会 2019 年 5 月 18 日 東北大学 青葉山北キャンパス

2. 評議会 2019 年 5 月 18 日 東北大学 青葉山北キャンパス

3. 学術大会

(1)春季大会：2019 年 5 月 18～19 日，東北大学 青葉山北キャンパス

- ・研究発表 41 件（19・20 日）
- ・懇親会（18 日，バディーズテーブル）

(2)秋季大会：2019 年 9 月 14 日～15 日 北海学園大学（北海道地理学会共催）

- ・研究発表 40 件（14 日）
- ・懇親会（14 日，北海学園大学生協食堂）
- ・巡 検（15 日）「平成 30 年北海道胆振東部地震の震源地周辺の現状」
（実施団体：北海道地理学会）

4. 主催・共催・後援・協賛行事等

(1)主 催

アウトリーチ企画『『地理総合』授業づくりワークショップ』2020 年 2 月 8 日 宮城教育大学
共同企画：国土地理院東北地方測量部、宮城教育大学防災教育研修機構
後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社

(2)研究集会

(3)後援した行事等

国際地理オリンピック
土木学会東北支部「防災に関するシンポジウム」
「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」

(4)災害対応

災害対応助成金（台風 19 号災害） 1 件 黒木貴一ほか（成果は HP 掲載）

5. 刊行物

(1)会誌『季刊地理学』第 71 巻 2,3,4 号，第 72 巻 1 号

- ・総ページ数 68-1,2,3,4 163 ページ 72-1 70 ページ：
- （展望 1 編，論説 2 編，研究ノート 2 編，短報 4 編，書評・紹介 8 編）

(2)頒布状況（2020 年 3 月 31 日現在）：会員向け 448 冊，定期購読向け 60 件（80 冊），
寄贈 9 冊（国内 7，国外 2），交換 38 冊（国内 35，国外 3）

6. 会員の異動と現況（2020年3月31日現在）

(1) 異 動

- ・入会：18名
- ・退会：16名
※うちご逝去2名（米地 文夫，高荷 久昌）
- ・除籍：5名

(2) 現 況

- ・会員総数：524名
- ・内訳：名誉会員，一般会員 448（外国人会員 5，学生会費適用者 0，終身会費納入者 29）

7. 幹事会

(1)開催回数：11回

(2)主業務：上記の諸事業に関する検討と執行

(3)その他の主な検討事項

- ・アウトリーチ企画『『地理総合』授業づくりワークショップ』の企画
- ・日本地球惑星科学連合への対応 ... 社員総会・学協会長会議への出席，各種委員会への出席
- ・地理学関連諸団体への対応 ... 地理学連携機構，地理関連学会連合，人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会ほか地理学会関連の要請への対処，各種委員会への対処

8. 編集委員会

(1)開催回数：11回

(2)主業務：会誌『季刊地理学』第71巻2,3,4号，第72巻1号の編集・発行

(3)投稿規定・原稿作成要領の改訂(71巻1号より適用)

9. 東北地理学会研究奨励賞（長谷川賞）受賞者の選出

1. 2019（令和元）年度 東北地理学会決算（案）

一般会計

（歳入の部）

摘 要	'19年度予算	'19年度決算	比較増減	備考
会 費	2,700,000	2,696,000	△ 4,000	
購読料本年度	600,000	602,222	2,222	
会誌等売上金	10,000	0	△ 10,000	
超過頁等負担 徴収金	50,000	0	△ 50,000	
終身会費からの 繰入金	300,000	300,000	0	
交付金・助成金 ・寄付金			0	
雑収入	100,000	75,783	△ 24,217	著作権料, 銀行利息など
大会・研究集会 参加費			0	
選挙特別会計 からの繰入金			0	
前期繰越金			0	
その他収入		18,000	18,000	除籍会員からの復活
合 計	3,760,000	3,692,005	△ 67,995	

(歳出の部)

摘 要	'19年度予算	'19年度決算	比較増減	備 考
会誌印刷費	1,600,000	1,528,940	△ 71,060	予算:4号分(71-2~72-1) 決算:4号分(71-2~72-1)
別刷印刷費	100,000	40,711	△ 59,289	予算:4号分(71-2~72-1) 決算:4号分(71-2~72-1)
一般印刷費	50,000	39,960	△ 10,040	
会誌発送費	200,000	147,202	△ 52,798	予算:4号分(71-2~72-1) 決算:4号分(71-2~72-1)
会誌編集委託費	150,000	149,400	△ 600	2012年度より、電子アーカイブ 化及び公開委託費を含む
大会・研究集会費	450,000	273,927	△ 176,073	
通信・運搬費	100,000	100,739	739	
書記手当・ アルバイト費	750,000	763,700	13,700	
旅 費	100,000	29,650	△ 70,350	
消耗品費	20,000	6,364	△ 13,636	
事務局費	40,000	48,513	8,513	事務室使用料, 光熱費
会 議 費	100,000	113,400	13,400	
雑 費	40,000	37,598	△ 2,402	寄付金等含む
選挙特別会計への 繰り出し	100,000	100,000	0	2010年度まで:名簿作成特別会計
会費・購読会費 損金引当金	250,000	90,000	△ 160,000	
予 備 費	50,000	11,563	△ 38,437	備品等更新費
合 計	4,100,000	3,481,667	△ 618,333	

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	
会誌印刷費	2,272,200	2,961,000	2,238,600	990,150	1,615,950	1,557,150	1,997,160	2,558,520	2,258,280	1,983,960	1,407,240	1,528,940	会誌印刷費
会誌印刷費(平均)	4号分 (568,050)	5号分 (592,200)	4号分 (559,650)	2号分 (495,075)	4号分 (403,988)	4号分 (389,288)	4号分 (499,290)	5号分 (511,704)	4号分 (564,570)	5号分 (396,792)	4号分 (351,810)	4号分 (382,235)	会誌印刷費(平均)
会誌別刷印刷費	109,935	74,655	93,660	38,062	62,643	44,833	57,693	72,414	84,834	70,524	39,981	40,711	会誌別刷印刷費
編集委託費				12,600	247,485	205,800	105,000	324,000	82,080	170,640	252,720	149,400	編集委託費
一般印刷費	96,600	116,550	197,400	38,850	81,900	66,150	93,930	91,800	170,640	39,960	106,920	39,960	一般印刷費
会誌発送費	244,500	162,630	133,945	83,820	169,940	253,020	148,930	187,238	151,554	149,174	151,060	147,202	会誌発送費
印刷・発送費小計	2,723,235	3,314,835	2,663,605	1,163,482	2,177,918	2,126,953	2,402,713	3,233,972	2,747,388	2,414,258	1,957,921	1,906,213	印刷・発送費小計
大会・研究集会費	447,160	443,649	546,468	438,883	368,728	410,667	637,254	372,854	438,683	457,744	404,405	273,927	大会・研究集会費
通信運搬費	160,167	140,187	139,950	93,782	96,870	73,186	85,405	83,703	76,058	76,242	68,006	100,739	通信運搬費
人件費	1,062,800	1,146,300	1,065,200	843,000	751,200	650,770	792,275	719,300	718,000	740,600	723,300	763,700	人件費
旅費	118,000	129,000	40,000	144,000	76,000	80,100	74,000	80,000	105,779	106,000	51,000	29,650	旅費
消耗品費	35,094	20,457	19,079	16,943	18,960	24,736	16,083	5,150	26,276	7,913	12,537	6,364	消耗品費
事務局費	35,128	35,421	34,953	34,963	35,188	51,002	36,185	36,387	36,300	44,688	47,888	48,513	事務局費
会議費	158,400	180,600	149,800	180,890	134,418	125,580	112,701	95,842	82,620	111,780	123,120	113,400	会議費
雑費	44,829	10,109	13,510	2,810	47,820	6,115	8,242	26,346	2,154	1,938	2,262	17,598	雑費
選挙特別会計への拠出金	200,000	200,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	選挙特別会計への拠出金
備品等更新費	0	121,870	0	0	0	23,100	0	101,469	0	0	0	11,563	備品等更新費
関連学会・団体寄付金	0	30,000	10,000	90,000	30,000	30,000	40,000	20,000	10,000	30,000	30,000	20,000	関連学会・団体寄付金
会費損金	162,000	252,000	216,000	342,000	396,000	234,000	270,000	450,000	108,000	234,000	252,000	90,000	会費損金
購読料損金	36,120		0		0		0	0	0	0	0	0	購読料損金
その他			50,000	50,000	50,000	50,000							その他
その他小計	2,459,698	2,709,593	2,384,960	2,337,271	2,105,184	1,859,256	2,172,145	2,091,051	1,703,870	1,910,905	1,814,518	1,575,454	その他小計
合計	5,182,933	6,024,428	5,048,565	3,500,753	4,283,102	3,986,209	4,574,858	5,325,023	4,451,258	4,325,163	3,772,439	3,481,667	合計

2. 会計に関わる財産目録（2020年3月31日）

イ 資産の部

（１）現金	¥	17,536
（２）普通預金	¥	3,774,555
七十七銀行	¥	195,018
りそな銀行	¥	3,579,537
（３）郵便振替口座	¥	2,258,270
（４）定期預金	¥	971,089
（５）未収金	¥	669,000
19年度会費	¥	420,000
18年度会費	¥	84,000
17年度会費	¥	-
19年度購読料	¥	165,000
18年度以前購読料	¥	-
超過頁等負担未収金	¥	-

ロ 負債の部（前受け会費、預かり金、引当金）

（１）前受け会費	¥	685,000
（２）前受け購読料	¥	-
（３）終身会費預かり金	¥	1,100,000
（４）未払い金	¥	-
（５）預かり金	¥	-
（６）選挙特別会計引当金	¥	100,000
（７）研究奨励賞（長谷川）基金	¥	240,000
（７）震災関連書籍特別会計	¥	-119,570

ハ 資本の部

（１）学会運営基金	¥	2,690,060
（２）一般会計次期繰越金	¥	2,994,960

3. 会誌、備品などについての財産目録

（１）会誌在庫数	12563冊
内訳	
販売用	10346冊
保存用	2225冊
（２）震災関連書籍在庫数	301冊
（３）備品類	
スチール戸棚	3
スクリーン	2
パソコン一式	1
液晶プロジェクター	1
ファックス付き電話機	1
セラミックファンヒーター	1
スキャナー	1

4. 選挙特別会計 2019年度決算（案）

（歳入の部）

前年度選挙特別会計繰越金	¥	-
本年度一般会計からの引当金	¥	100,000
計	¥	100,000

（歳出の部）

一般会計への繰入金	¥	-
選挙封入アルバイト	¥	-
選挙関連発送費	¥	-
投票用紙印刷	¥	-
名簿・規程印刷	¥	-
返信用封筒印刷	¥	-
その他備品購入	¥	-
計	¥	-
選挙特別会計次年度繰越金	¥	100,000

5. 選挙特別会計 2020年度予算（案）

（歳入の部）

前年度選挙特別会計繰越金	¥	100,000
本年度一般会計からの引当金	¥	100,000
計	¥	200,000

（歳出の部）

封筒、投票用紙印刷代	¥	30,000
名簿会則印刷代	¥	50,000
送代	¥	60,000
返送用後納郵便料金	¥	60,000
一般会計へ繰り入れ	¥	-
計	¥	200,000
選挙特別会計次年度繰越金	¥	-

6. 研究奨励賞（長谷川賞）特別会計 2019年度決算（案）

（歳入の部）

前年度繰越金	¥	300,000
寄付金	¥	-
計	¥	300,000

（歳出の部）

研究奨励金賞金	¥	60,000
計	¥	60,000
次年度繰越金	¥	240,000

7. 研究奨励賞（長谷川賞）特別会計 2020年度予算（案）

（歳入の部）

前年度繰越金	¥	240,000
計	¥	240,000

（歳出の部）

研究奨励賞賞金	¥	30,000
計	¥	30,000
次年度繰越金	¥	210,000

8. 震災関連書籍出版特別会計 2019年度決算（案）

（歳入の部）

前年度繰越金	¥	-225,278
書籍売上金	¥	112,442
計	¥	-112,836

（歳出の部）

印刷代	¥	-
送料	¥	6,734
計	¥	6,734
次年度繰越金	¥	-119,570

9. 震災関連書籍出版特別会計 2020年度予算（案）

（歳入の部）

前年度繰越金	¥	-119,570
書籍売上金	¥	60,000
計	¥	-59,570

（歳出の部）

送料	¥	6,000
計	¥	6,000
次年度繰越金	¥	-65,570

会計監査報告書

「東北地理学会会則」第 14 条第 2 項の規定に基づき、2019 (令和元) 年度における本会の会計状況について監査した結果、元帳の記載と証憑書類の間には齟齬がなく、また預金残高も、普通預金・定期預金・郵便振替(一般口座)とも、帳簿の記載するところと一致しており、学会会計が適正に処理されていることを、ここに承認いたします。

2020(令和 2)年 5 月 13 日

東北地理学会

会計監査

岩動志乃夫
梅引素夫

2020 年度 事業計画案

1. 総 会 2020 年 5 月 25 日 総会資料 HP 掲載、
Google Form で承認・意思表示 (5/30 まで)
2. 評議会 2020 年 5 月 16 日 Zoom 会議
3. 学術大会 1 回
2020 年春季大会中止 (新型コロナウイルス感染症流行のため中止)
2020 年秋季大会 仙台開催
10 月 10～11 日 (予定) 東北大学
※研究発表 (10-11 日), 懇親会 (10 日)
4. 主催・後援行事
(1)主催
アウトリーチ企画「地理総合」授業づくりワークショップ」2～3 回
(国土地理協会助成金申請中)
(2)後援
国際地理オリンピック
5. 機関誌の刊行
・『季刊地理学』第 72 巻 2,3,4 号, 第 73 巻 1 号
6. 地理関連諸団体への対応
・日本地球惑星科学連合への対応...学協会長会議・評議会への出席, 各種委員会への出席
・地理学関連諸団体への対応...日本地球惑星科学連合, 地理学連携機構, 地理学会連合, 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会ほか地理学会関連の要請への対処, 各種委員会への対処

(歳出の部)

摘 要	'19年度予算	'20年度予算	比較増減	備 考
会誌印刷費	1,600,000	1,600,000	0	4号分(72-2~73-1)
別刷印刷費	100,000	100,000	0	4号分(72-2~73-1)
一般印刷費	50,000	50,000	0	
会誌発送費	200,000	200,000	0	4号分(72-2~73-1)
会誌編集委託費	150,000	150,000	0	2012年度より、電子アーカイブ化及び公開委託費を含む
大会・研究会費	450,000	300,000	△ 150,000	内、アウトリーチ企画 ¥100,000-
通信・運搬費	100,000	100,000	0	学会HPプロバイダー費用含む
書記手当・アルバイト費	750,000	750,000	0	
旅 費	100,000	50,000	△ 50,000	
消耗品費	20,000	20,000	0	
事務局費	40,000	40,000	0	
会議費	100,000	100,000	0	
雑 費	40,000	40,000	0	
選挙特別会計への繰り出し	100,000	100,000	0	
会費・購読会費損金引当金	250,000	180,000	△ 70,000	3末時点での除籍候補者14名
予 備 費	50,000	50,000	0	
次期繰越金	0	2,670,000		繰越金減少額¥324.960-
合 計	4,100,000	6,500,000	2,400,000	

2020（令和2）年度 東北地理学会予算(案)

一般会計

（歳入の部）

摘 要	'19 年 度 予 算	'20 年 度 予 算	比 較 増 減	備 考
会 費	2,700,000	2,500,000	△ 200,000	
購 読 料	600,000	600,000	0	
会 誌 等 売 上 金	10,000	10,000	0	
超 過 頁 等 負 担 徴 収 金	50,000	50,000	0	
終 身 会 費 か ら の 繰 入 金	300,000	300,000	0	
交 付 金 ・ 助 成 金 ・ 寄 付 金				
雑 収 入	100,000	45,040	△ 54,960	
前期からの繰入金	340,000	2,994,960	2,654,960	
選 挙 特 別 会 計 か ら の 繰 入 金	0	0	0	
合 計	4,100,000	6,500,000	2,400,000	

第 13 回 東北地理学会研究奨励賞の受賞者について

「東北地理学会研究奨励賞（長谷川賞）」表彰規程にもとづき、第 13 回受賞者について検討した結果、次の方を受賞者とすることになりました。

受賞者：本多広樹会員

選考対象とする業績：「保育および教育機能からみた中山間地域の存続基盤—伊那市新山地区を事例として」（71-4, pp. 182-196）

本論文は、中山間地域である伊那市新山地区を対象地域として、様々な主体の活動とその関係性が、地域の保育・教育機能を維持させ、それが地域の存続基盤となったことを示している。

人口減少地域の機能維持における学校の重要性は、これまでしばしば指摘されてきたが、本論文は保育園の閉園の後、その再開、さらには移住者受け入れ促進による地域活性化を経験するに至った希少な事例を取り上げている点で貴重である。著者は、対象地域における保育および教育機能の変遷の背景について、すでに解散した住民組織も含めて、関係主体の活動内容や相互の関係性に着目して、丁寧に検討している。そして調査結果を基に、中でも保育園の閉園時期も含めた子育て世代同士のつながりの維持が、保育園の閉園という地域社会の存続を脅かす危機の克服と、移住者受入という地域社会の維持活動において重要な役割を果たしてきたことを明らかにした。本論文で示された中山間地域の維持機構は、日本各地の中山間地域の機能維持を考える上で、示唆に富むものであり、日本の現代的課題の解決に寄与することができる優れた研究報告であるといえる。今後のさらなる研究の発展が期待される。本論文著者の問題意識や、それに対しての意欲的な取り組みは高く評価される。以上の理由により、本多広樹会員が受賞にふさわしいと判断した。

2019-2020 年度 東北地理学会 役員および事務局

会 長

高野 岳彦

会計監査

岩動 志乃夫 櫛引 素夫

評議員（地区・五十音順）

櫛引 素夫 小岩 直人 橋本 雄一 古市 剛久 阿部 隆 岩動 志乃夫 遠藤 尚 大月 義徳 小
田 隆史 西城 潔 境田 清隆 田村 俊和 土屋 純 中谷 友樹 平野 信一 増田 聡 松本 秀明
宮城 豊彦 伊藤 晶文 岩鼻 通明 初澤 敏生 村山 良之 山口 泰史 渡辺 理絵 高橋 日出男
宮澤 仁 藤本 潔 安食 和宏 寺谷 亮司 黒木 貴一

幹事

- 幹事長：磯田 弦
- 総務：西城 潔
- 庶務：遠藤 尚 中谷友樹
- 会計：大竹秀則 宮本景太郎
- 集会：浅川俊夫 小田隆史 松宮正樹 村山良之

編集委員会

- 委員長：関根良平
- 委員：岩動志乃夫 大月義徳 境田清隆 酒井宣昭 佐々木達
目代邦康 吉田 剛 伊藤晶文 瀬戸真之 初澤敏生
北村 繁 今野明咲香 佐々木明彦 庄子 元 高橋日出男
丹羽孝仁 藤本将光 宮澤 仁 山崎新太郎 山本健太

事務局書記：我妻 香